



坂口多美子活動ニュース



市会議員・坂口多美子

新型コロナウイルス感染症流行から1年が経ちました。移動や交流の自粛によって、市民生活は疲弊していることだと思います。こういう時だからこそ、暮らしを支えるための施策が市政に求められます。

2月議会に提出された新年度予算案には、そういう点で不十分なものもあり指摘をしました。しかし、中学校給食を全員給食にするための準備費や、こども医療費助成制度の所得制限を撤廃するための予算、就学援助金の引き上げなども計上されました。これらは市民の皆さんと一緒に運動してきたもので、「声を上げれば政治は変えられる」という確信となりました。今後もより良い市政のためにみなさんと一緒に頑張っていきたいと思います。

政治は変えられる！

憲法守れとデモ行進

3月16日、憲法9条を守る和歌山弁護士会が主催する『第81回憲法の破壊を許さないランチタイムデモ』が行われました。市議団から手作りの旗を持って、3人で参加しました。この日の参加者は70人で、「憲法壊すな」「憲法守ろう」「平和な国を子どもに残そう」と元気よくアピールしました。



ランチタイムデモに参加（左から南畠・森下・坂口）

たかがストレスと言ってそのまま放置していると心筋梗塞や脳卒中といった命に関わる病気の引き金になる場合もあります。ストレスかなと感じたら早めの対策を心掛けましょう。ストレス対策のコツは、「保温」、「十分な睡眠」、「バランスの取れた食事」そして「笑顔」です。コツをマスターして楽しい春を過ごしましょう！

暖かくなつきましたね。春が来るとなんだかワクワクする一方で、ため息をついてしまうことはありませんか？ある会社のアンケート調査によると、好きな季節の1位は「春」だったですが、体調を崩しやすい月は、1位が3月、2位は4月だったそうです。

春は気候の変動による寒暖差や生活環境、人間関係の変化が自律神経のバランスを崩し、ストレスを引き起こしてしまうのです。

「健康のトリビア」
「ナースタマゴのつぶやき」

2月議会の報告

2月定例市議会は、コロナ禍のもと人数を制限する議会となりました。

日本共産党市議団は、毎議会、全員が一般質問を行ってきましたが、今回は代表質問と一般質問1人でした。

コロナ感染が広がっていたことから、できるだけ早く新年度予算を議決することを目的に各会派で話し合った結果です。

日本共産党の代表質問は井本市議が行いました。主な内容は、①新型コロナ対策について、②社会保障制度の充実と改善について、③核兵器禁止条約への署名・批准について、④IRへの姿勢について、⑤県立高校統廃合についてです。代表質問は1問のみのやり取りなので、詳細はそれぞれの委員会で質すことになります。

私は厚生委員会で、コロナ対策や社会保障制度など質しました。

今年度の当初予算は、コロナ禍で特に暮らしを支えるための施策が求められていますが、そういう点において不十分だと言わざるを得ません。まず国民健康保険事業は、2019年度決算で約34億円の黒字となっています。

コロナ禍で被保険者の収入減が予測されるなか黒字を積み立てるのではなく、保険料引き下げに使うべきです。

介護保険事業についても、基金として23億2600万円積まれています。今回、約4億円を活用し、保険料を上げずに据え置きましたが、コロナ禍の下で、思い切って引き下げることが求められます。

マイナンバーカードを普及する予算については、国の交付金ですが、約1億3千万円という多額の予算です。

マイナンバーカードの普及が進まないのは、個人情報の漏洩への不安、情報を探されることがへの抵抗感があることは明白です。今後セキュリティ対策や様々なものへの紐づけに、さらなる税金投入が必要となることが予測され、コロナ禍の下、このような大きな予算で、いま進めるべき事業なのか疑問です。

新年度予算案は賛成多数で可決されました。今後も市民の声を議会へ届けるために頑張つてまいります。ぜひ皆さんのお声をお聞かせください。

☆無料生活相談所☆

医療や福祉・くらし・法律などお気軽にご相談ください。

<場所>さかぐち多美子事務所

和歌山市西庄274

<時間>平日の午後1時から5時まで受け付けています

<電話>073-454-0538

ご意見など、お気軽に寄せください

連絡先：日本共産党和歌山市議団073-435-1113



2月定例市議会・厚生委員会での質問の様子